

地理学視点の福岡：都市圏成長の背景：福岡地理学会設立75周年記念出版

阿部, 康久
九州大学大学院比較社会文化研究院：准教授

磯, 望
西南学院大学：名誉教授

芳賀, 博文
九州産業大学経済学部：教授

<https://hdl.handle.net/2324/7388878>

出版情報：pp. -235, 2024-11-20. 有限会社 花書院
バージョン：
権利関係：



あ と が き

福岡地理学会は福岡県における地理学・地理教育の進歩と普及、ならびに会員相互の親睦を図ることを目的として、1949年11月12日に設立された由緒のある学会です。福岡県内の地理学と地理教育に携わる大学、高等学校関係者を中心として組織・運営がなされ、主に夏期と冬期に開催する例会での研究発表と意見交換を通じて会員相互に研鑽を積み重ねてきました。広い研究分野と研究地域の課題を理解するために、肩肘の張らない討論のできることが本会の大きな特徴と言えるでしょう。所属する会員が研究対象としている地域は福岡県のみならず、国内はもとより世界各地へと広がっています。研究領域も自然地理学・人文地理学・地誌学の枠を超えた隣接分野へと広がっています。

私が本会へ入会したのは2002年のこと。例会での研究発表を行った後で「発表者は招待だから」と懇親会へ招かれて感化されたことを憶えています。以来、繁く発表の機会を頂くとともに、近隣の多くの地理学関係者らとの親交を深めることができました。他所者の私にとって打ち解けた雰囲気漂う福岡地理学会は、任地である福岡市と同様に非常に居心地の良い場となっていたのです。ただし学会の事務局は輪番で廻ってきます。かようなフリーライダーを享受する平穏な日々は、当然ながらいつまでも続くはずはありません。2020年1月の例会、いつも穏やかな磯会長と黒木委員長（当時）より肅然とお呼び出しを受け、青天霹靂の如く次期委員長を要請されてしまうのです。戦場への赤紙の様な託宣に戦々恐々しつつも観念し、「何とか2年間穏便にやり過ごそう…」と詮方なく受諾してしまいました。

しかしながら、その直後に発生した新型コロナ禍で状況は一転します。就任が翌年へ1年延期になるとともに、遠方への転任にも拘わらず任期を延長して未曾有の社会的混乱に懸命に対応する黒木委員長の姿をみて、私のネガティブ思考に何か先輩たちの苦勞に報いねばという気持ちが芽生えたのだと思います。そうした矢先に「特別会計（将来構想用の資金）」としてまとまった金額がプールされている事実を知り、これまでお骨折りを頂いた先輩方への報恩という形で、2022年1月の臨時総会にて学会編纂本の構想を提起させて頂きました。本会の設立が1949年であることも判り（その後に会則へも明記）、逆算して2024年が75年の節目に当たることも縁由だった気がします。当初は大風呂敷の画餅事案でしたが、会員への呼びかけに対して、い

の一番に阿部先生から力強いお声掛けを頂き大変に勇気づけられました。同時に、頼れる会長の磯先生からも協働のご内諾を頂き、拙い思いつきに過ぎなかった劃策は実現に向けて確実に動き出したのでした。

偶然にも、構想時に企図していた三部構成に我々三名の専門領域はぴたりと填まり、各部での独立採算的な編集をとる方向で一致できたことは非常に幸運でした。執筆者も磯先生、阿部先生からの呼びかけで有り難いことに予想を遥かに上回る多くの方々にお集まり頂きました。実は出版如何に関わらず、この集まりを母体に学会下部組織として三つの研究部会を設置して、会員の研究活動のモチベーションが高まればと考えていました（例会は夏・冬、部会は秋・春）。当時はコロナ禍の影響もあって例会での発表者が減少する傾向にあり、出版は目標であるとともに、停滞する学会活動への賦活策でもあったのです。その後、阿部先生のご尽力により花書院さんに非常に良い条件で出版をお引き受け頂いたことで準備は整い、2022年7月の総会での審議に臨んで何とか承認を頂くことができ編纂本の発刊が正式に決まりました。最後に磯先生は画竜点睛で本書のタイトルをご考案くださり、こうして今日の上梓を迎えることができましたことは何よりの喜びであり、皆様方のお蔭と深く感謝いたしております。

本来はこの場を借りて福岡地理学会 75 年の歴史を回顧することを想定しておりました。そのために座談会を開くなど手を尽くして記録を探してみましたが、現状では残念ながら 20 年ほどしか遡ることができずに叶いませんでした。これまで本会を支えてくださった多くの諸先輩には大変申し訳なく悔いの残るところですが、及ばずながら本書を捧げることができましたならば幸甚の至りです。併せて名誉会員制度を昨年度より設置致しましたので、ご献身くださった先輩方のお名前が判明した暁にはこちらへ登録をさせて頂く所存です。先輩たちの雄志を引き継ぎ、我々は本会を 100 年、150 年と盛況に永続させていくべく精進したいと心得ております。少子高齢化の時局にある中で福岡地理学会も福岡都市圏と同様に、今後も益々発展していくことを願ってやみません。本会会員の皆様方には研究・教育の発展のために、例会等での発表や討論の機会を積極的にご活用頂ければ大変有り難いと存じます。また、地理学や本会に興味を持たれる皆様におかれましては、新規のご参加ならびにご加入を心からお待ちいたしております。

2024 年 11 月吉日

芳 賀 博 文